

単元（題材）目標

○10歳を迎えるにあたり、今までの自分を家族や学校の仲間とともに振り返ることで、自身の成長を実感し感謝の気持ちをもつ。そしてその感謝の気持ちを様々な表現方法で関わりのある人に伝える過程の中で、自身の自立を促す。

(1) 実施時期

- 12月～1月 事前の取り組み
- 1月中旬 「二分の一成人式」当日

(2) 対象（学年等・人数）

第4学年（116名）

(3) 指導者（教諭・外部講師等）

第4学年学級担任、学校司書

(4) 実施内容

- ①家族や学校の仲間と今までの自分を振り返り、自身の成長について考える。
- ②二分の一成人式を企画する（1）（取り入れたい内容や表現の方法など）
- ③日本語のほかに、学習した外国語や同じ言語として「手話」があることを知り、手話について学びあう。
 - ・手話とは何か、どのような時に使われているのか
 - ・手話の表現を本やパソコンを使って調べる
 - ・調べたことを共有しあい、実践してみる
- ④二分の一成人式を企画する（2）
 - ・英語劇、歌、お祝いのあいさつ（ここで手話を取り入れる）
 - ・保護者や近隣の日頃お世話になっている方々を招待する
- ⑤二分の一成人式当日（1月14日）

(5) 成果

- 手話に興味を持ち、手話で簡単な挨拶や自分の名前を伝えられるようになった。
- 校内に掲示してある手話のポスター等を見て、自ら手話を学ぼうとする姿勢が見られた。
- 手話体験を通して、手話がコミュニケーションツールの一つであることを理解することができた。

(6) その他

- 保護者にも参観してもらい、家庭でも手話について話題になるようなきっかけづくりをした。
- 校内に手話のポスター等掲示し、子どもが自然に気付くよう促した。